

公表

事業所における自己評価総括表 めだか

○事業所名	放課後等デイサービス ゆうゆう めだか		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 9日		2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 9日		2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月曜～土曜、祝日の開所をしている。	学校休業日は9時からの受け入れをしている。	時差をつけて8時半からの受け入れを検討していく。
2	年齢に応じた生活空間や余暇を過ごすための道具を準備している。	家庭的な雰囲気大切にしている。	
3	台所が広い。	定期的なクッキングを実施している。手作りおやつの日を設定して、腹持ちの良いものをなど工夫している。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	住宅地にあるため十分な外遊びができない。	時間を見つけて車で公園へ出かけている。	定期的に公園へ行く日を設定し、体を動かす活動を増やしていきたい。
2	指導員の年齢が高く、子どもの動きに対応するのが難しい。	指導員の高齢化が問題。	若い人の新規採用に努め、労働条件を良くする。
3			

公表

事業所における自己評価結果 めだか

事業所名		放課後等デイサービス ゆうゆう めだか		公表日		2025年 1月 29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	各部屋の戸やガラスには危険なことを事前に防げるよう予防している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	宿題や読書にしっかり取り組める場、身体を使って遊べる場の部屋を分けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1		振り返りをする時間が取りにくい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	月に一度の事業所会議をしたり、毎日のミーティングの時間を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	年間計画を立て、全職員が研修に参加できる。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	日々の様子を把握することで、事業所内で確認していることからアセスメントへ移行している。		
	13	管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	話合う時間を設け、共通認識が出来るようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	フォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	その都度理解し寄り添い過ぎし、時にはどうすれば支援になるかを考えている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	事前に話し合い、どう取り組むかを話し合っている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	集団で楽しむリズムを楽しめるよう工夫したり個別に関われるよう支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		その日より打ち合わせができない時もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		その日のうちに振り返りは出来ないが、次の日に話ができるように時間の工夫がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	毎日、日誌に記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4	0	毎日の活動を掲示し、分かりやすくする。自分の遊びの中で新たなものをじっくりと作り出せる時間、休みの日は公園へ出かけ地域の中で交流が持てるようにしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	引継ぎをしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	0	公民館の行事や市の文化祭へ作品を展示している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1		
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供体制構築の際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	年間計画を立て、想定して訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	事業所内だけでなく、法人全体に周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0		パニック状態になり暴れ、周囲や本児に危険が及ぶ可能性がある場合、行うことがある。